

社会福祉法人 輪島市福祉会
あての木園

特別養護老人ホーム 開園30年

～おかげさまで30年～

社会福祉法人 輪島市福祉会の基本理念 『尊厳・共生・向上』

私たちは、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、地域社会と共に自立した生活を営むことができるように支援します。

私たちは、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保を図ります。

法人の基本方針

1. 超高齢化が進むなか、高齢者を取り巻く環境の変化、介護保険制度を取り巻く厳しい情勢を踏まえ、当法人の役職員が社会福祉法人の使命や自ら果たすべき役割を再確認し、介護者としての本旨にたちかえり高齢者福祉の進展に寄与します。
2. 地域の方々の社会福祉支援を目的に、誠心誠意のサービスに努めます。
3. 個人の尊厳を保持しつつ、介護サービスが「いつでも・どこでも・だれでも」利用できるよう努めます。
4. すべての役職員は、倫理・理念を遵守し、専門性を高め、地域の一員として社会福祉の充実を目指します。

特別養護老人ホーム 開設の歴史



特別養護老人ホーム 建設への行程(広報わじま 昭和 60 年 6 月 5 日発行より)

昭和 58 年 7 月	特別養護老人ホームの建設の意向固まる
昭和 58 年 12 月	推進準備委員会を設置
昭和 59 年 6 月	中段町地内で建設候補地選定。用地交渉を開始。
昭和 59 年 10 月	社会福祉法人設立のため発起人会設置。中段町の用地交渉を断念。
昭和 59 年 11 月	新たな候補地として、三井町地内の県有地を選定。県へ意向打診。
昭和 60 年 2 月	厚生省・県へ施設整備計画を協議。
昭和 60 年 5 月	県有地の借り受け決定(契約完了)。埋蔵文化財の発掘調査。
昭和 60 年 6 月	社会福祉法人設立認可を申請。
昭和 60 年 7 月	設計完了。
昭和 60 年 8 月	建設工事・着工。
昭和 60 年 3 月	建設工事・完了。

※広報わじま 昭和 60 年 6 月 5 日発行より(一部抜粋)

建設予定の特別養護老人ホームは、県立や市立ではなく新たに設立される民間社会福祉法人によって設置運営されることとなります。

現在、この民間発起人会を組織して諸準備を進めています。発起人会のメンバーは次の皆さんです。

顧問：大向貢 設立代表：南昭三 会員：永泉良雄、鎧光男、引戸力、大家義輝、前田真一、福久清一、弥郡信雄、中山勝、中谷牛之助、柴田昭三郎、宮下友吉

施設の建設費総額は、四億一千七百万円の見込みで、その財源内訳は、国・県からの補助金が一億七千七百万円、市からの補助金が四千万円、社会福祉法人の借入金が一億九千万円、社会福祉法人の自己資金(市社会福祉協議会の寄付金)が一千万円と予定されています。

市の補助金四千万円のうちには、市民各位からの寄付金も含まれることになっています。

(広報 わじま 昭和 61 年 4 月 5 日発行より)



No. 211
昭和61年4月5日発行
石川県輪島市二ツ屋町
発行 輪 島 市
編集 総 務 課
郵便番号 9 2 8
電話番号 22211

市民の善意が結実

特別養護
老人ホーム

あての木園竣工、社会福祉法人で運営へ



特別養護 老人ホーム あての木園

◎あての木園の概要

設置運営主体	社会福祉法人輪島市福祉会
施設名	特別養護老人ホームあての木園
所在地	石川県輪島市三井町小泉上野2番地
敷地面積	17,637㎡(実測)
床面積	1,600㎡
建物の構造	鉄筋コンクリート 平家建
収容定員	50名
居室	4人部屋 10室・2人部屋 5室

総工費

4億1,698万円

財源内訳

県補助金	177,083千円
輪島市補助金	39,897千円
社会福祉医療事業団借入金	180,000千円
石川県社会福祉事業金	10,000千円
石川県社会福祉協議会寄附金	10,000千円

'86
4

昭和61年当時



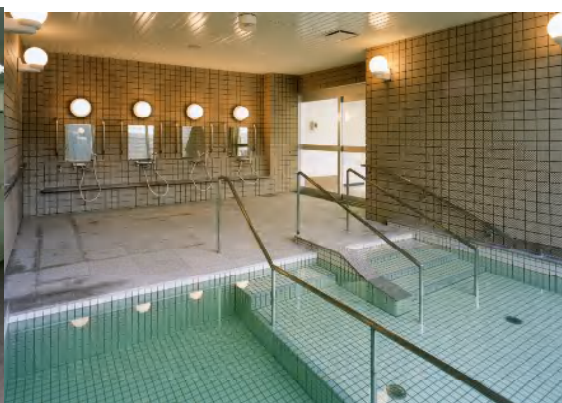
平成4年当時

(デイサービスセンター、ショートステイ専用居室整備)



平成 11 年当時

(特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター増築整備)



社会福祉法人 輪島市福祉会のあゆみ

昭和 59 年 10 月 14 日	社会福祉法人設立発起人会発足
昭和 60 年 2 月 20 日	特別養護老人ホーム整備協議書を県に提出
昭和 60 年 5 月 1 日	石川県と輪島市で県有土地貸借契約を締結
昭和 60 年 6 月 3 日	建設現場遺跡分布調査開始
昭和 60 年 6 月 21 日	法人設立許可申請
昭和 60 年 7 月 31 日	建設工事入札
昭和 60 年 8 月 14 日	法人設立許可書認可（厚生大臣）
昭和 60 年 9 月 4 日	輪島市と法人であての木園用地使用貸借契約締結
昭和 60 年 9 月 6 日	法人設立登記
昭和 61 年 3 月 28 日	特別養護老人ホーム あての木園竣工式
昭和 61 年 4 月 1 日	特別養護老人ホーム あての木園開園(50 床)
平成 3 年 2 月 28 日	デイサービスセンター(B型)、ショートステイ専用居室整備協議書を県に提出
平成 3 年 4 月 1 日	建設現場遺跡分布調査開始
平成 3 年 7 月 1 日	工事請負契約締結、工事着手
平成 4 年 1 月 28 日	あての木園デイサービスセンター及びショートステイ専用居室(10 床)施設竣工式
平成 4 年 1 月 29 日	あての木園デイサービスセンター(B型)及びショートステイ専用居室(10 床)事業開始
平成 4 年 4 月 1 日	デイサービスセンターA型に移行
平成 5 年 1 月 4 日	ホームヘルプサービス事業開始、在宅介護支援センター事業開始
平成 5 年 6 月 29 日	中央競馬社会福祉財団へ食堂増改築事業助成金交付申請
平成 6 年 3 月 20 日	食堂増改築工事竣工
平成 8 年 4 月 1 日	ロングデイサービス、ホリデイサービス事業開始
平成 10 年 7 月 10 日	特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター増築整備協議書を県に提出
平成 10 年 12 月 14 日	特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター増築工事請負契約締結
平成 11 年 7 月 30 日	特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター増築工事竣工
平成 11 年 8 月 1 日	特別養護老人ホーム入所定員 90 人(40 人増)
平成 11 年 10 月 1 日	居宅介護支援事業開始
平成 12 年 3 月 1 日	介護保険事業指定
平成 12 年 4 月 1 日	介護保険制度施行
平成 12 年 9 月 1 日	入所定員 90 人から 96 人へ
平成 13 年 2 月 1 日	入所定員 96 人から 105 人へ
平成 15 年 4 月 1 日	入所定員 105 人から 100 人へ、身体障害者居宅介護等事業、知的障害者居宅介護事業実施
平成 18 年 4 月 1 日	介護予防関連事業実施、障害福祉サービス事業実施
平成 20 年 4 月 1 日	障害者福祉サービス廃止
平成 20 年 10 月 1 日	配食サービス廃止
平成 21 年 7 月 1 日	デイサービス定員を 30 名から 25 名へ
平成 22 年 3 月 30 日	介護基盤施設等緊急整備臨時特例事業によりスプリンクラー設備設置
平成 24 年 1 月 24 日	本館個浴室新設その他改修工事完了
平成 24 年 12 月 28 日	新館個浴室新設その他改修工事完了

平成 25 年 5 月 1 日	輪島市指定配食サービス事業者指定
平成 26 年 1 月 27 日	デイサービスセンター改修工事完了
平成 26 年 4 月 1 日	法人独自の配食サービス事業実施
平成 26 年 12 月 28 日	第 4 期改修工事完了
平成 27 年 4 月 1 日	輪島市と介護予防普及啓発事業受託・高齢者筋力向上トレーニング事業受託
平成 27 年 6 月 1 日	デイサービスセンター定員を 25 名から 30 名へ
平成 27 年 8 月 1 日	しせつの窓口開設(輪島市宅田町)
平成 27 年 12 月 28 日	第 5 期改修工事完了
平成 28 年 2 月 1 日	あての木園ふげしデイサービスセンター建設のため輪島市と土地の賃貸借契約締結(輪島市堀町)
平成 28 年 3 月 30 日	あての木園ふげしデイサービスセンター建設工事請負契約締結、工事着手
平成 28 年 4 月 1 日	食事サービス提供業務委託開始(特別養護老人ホーム)
平成 28 年 4 月 6 日	あての木園ふげしデイサービスセンター建設工事 安全祈願祭

私たちは、地域支援のために新たな取り組みを行います

社会福祉法人 輪島市福祉会 10 年後のビジョン

項目		長期計画	中期計画（2014～2016）		
尊厳	人権尊重を図ります	個室化60% 適切な施設整備	①プライバシーが守れる環境整備 ②感染症対策ができる施設整備 ③地域福祉の拠点として、災害に強い施設づくり ④建物の更新をしながら生活に潤いある環境整備		
共生	地域の情勢にあわせた対応を行います。	一人ひとりの思いを大切にし、その思いが実現できるような施設づくり・地域づくり	①施設・利用者の地域交流 ②地域支援の継続と在宅生活が継続できる支援 ③地域密着型サービスの提供 ④地域で安心して生活できる住まいの提供		
向上	福祉的サービスと高品質サービスの実現を図ります		全体	①利用者の自立支援、尊厳保持、生活の質向上 ②最期まで在宅での生活が継続できるような支援 ③在宅復帰ができる支援	
			居宅	①自宅で生活が継続できるよう自立支援介護の実践 ②地域支援 ③地域のニーズに応じたサービスの創意工夫	
			施設	①自立支援介護の実践 ②在宅復帰ができる個別サービスの実施 ③専門職で構成する他職種協働のサービス提供	
			人材	①笑顔で丁寧なサービスが提供でき、キャリアや資格に応じた役割分担や職員配置 ②法人理念の実現に向けた業務・研修・組織の確立 ③適切な専門職の配置と人材確保	

10年後のビジョンに基づく中期計画

□中期計画 『一人ひとりの思いを実現させる施設づくり・サービスづくりのために』

中期計画		2016 平成28年度	2017 平成29年度
尊 厳	①プライバシーが守れる環境整備 ②感染症対策ができる施設整備 ③地域福祉の拠点として災害に強い施設づくり ④建物の更新をしながら生活に潤いのある環境整備	1) 防災訓練の実施(月 1 回) 2) 保存用飲料水更新・利用者・職員含め3日分 3) 第6期改修工事食堂・廊下・壁・居室床・居室扉の更新・LED照明、施設内の段差解消、働きやすい職員の環境整備 4) 個室化の検討・個室化60%の実現に向けて	1) 個室化の検討(個室化 60%の実現に向けて)※ユニット型個室29床、従来型個室35床、多床室36床、厨房改修工事の検討 ※総合支援事業に移行
	①施設・利用者の地域交流 ②地域支援の継続と在宅生活が継続できる支援 ③地域密着型サービス提供 ④地域で安心して生活できる住まいの提供	1) 地域行事への参加・ボランティア協力 2) 在宅介護支援センターの運営強化・しせつの窓口、総合相談事業、筋力向上トレーニング事業、健康づくり教室、映画上映会、除雪応援隊、地域包括支援センターとの連携、障害施設・児童施設との連携 3) 外部サービスを入れながら地域で安心して生活できる住まいの提供を検討 4) 認知症対応型通所介護、総合支援事業の開設(8月開設予定) 5) 開園 30 周年記念行事の開催	1) 地域支援事業の運営強化・高齢者総合相談窓口の運営、筋力向上トレーニング事業、健康づくり教室、介護教室、除雪応援隊、映画上映会、高齢者見守り体制の整備、地域の自主活動の支援、各関係機関への支援に取り組みます 2) 総合支援事業にスムーズな移行に取り組む 3) 認知症対応型通所介護の安定的な運営を図る
向 上	全体 ①利用者の自立支援、尊厳保持、生活の質の向上 ②最期まで在宅での生活が継続できるような支援 ③在宅復帰ができる支援	1) 「水分」「食事」「排せつ」「運動」の4つの基本ケアの実践 2) 看取りの充実 3) 成功事例の蓄積・自立支援の蓄積	1) 自立支援介護の実践 2) 看取りケアの充実
	居宅 ①在宅生活が継続できるよう自立支援介護の実践 ②地域支援 ③地域のニーズに応じたサービスの創意工夫	1) 介護が必要とならないための支援、介護状態の悪化を防ぐ支援の取り組み 2) 関係機関との協働・連携 3) 地域で安心して生活できるための支援	1) 在宅生活継続の支援 2) 地域の課題の解決に向けた独自の取り組み

施設	①自立支援介護の実践 ②在宅復帰ができる個別サービスの実施 ③専門職で構成する他職種協働のサービス提供	1)水分ケア 1,300ml 以上、おむつ使用 40%未満 2)褥瘡ゼロ・骨折ゼロ 3)入院による生活の質低下を防ぎ、可能な限り施設生活を継続する 4)栄養状態の維持向上を図る	1)おむつ使用 30%未満の実現 2)栄養状態の向上
	①笑顔で丁寧なサービス提供ができ、キャリアや資格に応じた役割分担や職員配置 ②法人理念の実現にむけた業務・研修・組織の確立 ③適切な専門職の配置と人材確保	1)接遇のレベルアップと「笑顔」「感謝」「挨拶」を大切にする職員の育成 2)専門職の配置(機能訓練指導員、看護師、管理栄養士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、歯科衛生士等) 3)新卒職員採用	1)人間力(「笑顔」「感謝」「挨拶」)を大切にする職員 2)専門職の配置(機能訓練指導員、看護師、管理栄養士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、歯科衛生士等)

平成28年度 事業計画(事業所全体)

中期計画	事業目標	具体的取り組み内容
①利用者の自立支援、尊厳保持、生活の質の向上 ②最期まで在宅での生活が継続できるような支援 ③在宅復帰ができる支援	「水分」「食事」「排せつ」「運動」の4つの基本ケアの実践	☐ 基本ケアの重要性を理解し、適切な支援を行います。 ☐ 心身機能の自立の視点ではなく生活者の視点で他職種協働して自立を支援していきます。
	看取りの充実	☐ 安らかな最期を迎えられるように、関係機関との連携や家族との十分な信頼関係の構築を図るような支援に取り組みます。
	成功事例の蓄積	☐ 医療と介護の連携、日常の健康管理、介護サービスの効率化を図ります。 ☐ 認知症高齢者の対応

平成28年度 重点職場研修の方針

□「水分」「食事」「排せつ」「運動」の基本ケアの実践		
『水』『食事』『排便』『運動』の4つの基本ケアを中心に利用者の自立支援と心身機能向上を図ります		☐ 医師、歯科医師、歯科衛生士、機能訓練指導員、栄養士、看護職員、介護職員等の連携による実践 ☐ OFF-JT、OJT
□看取りの充実		
看取りケアの充実を目指します。		☐ 医師、看護師の連携による研修 ☐ OFF-JT、OJT ☐ 喀痰吸引等研修に参加 ☐ 緊急時の対応
□接遇のレベルアップと「笑顔」「感謝」「挨拶」を大切にする職員の育成		
接遇研修		☐ OFF-JT、OJT ☐ 接遇研修の実施

自己研鑽を支援します。	□資格取得助成
職員のメンタルヘルス・腰痛予防・労働災害の予防	□健康診断 □メンタルヘルス研修 □腰痛予防 □労働災害予防

定期職員採用計画(平成28年度～平成38年度)

年度	退職者数	退職する職種・退職した職員	採用予定者数	募集職種	採用職種及び人数
28 年度	1	介護支援専門員(1)	13※①	介護職員(8)介護支援専門員(1)事務員兼介護職員(1)	認知症通所介護事業開始・開園 30 周年
29 年度	3	介護職員(2)看護職員(1)	3	介護職員(2)支援専門員(1)	総合支援事業開始
30 年度	3	主任介護支援専門員(1)生活相談員(1)事務員(1)	3	介護職員(2)事務員(1)	制度・報酬改正 精神障害者の雇用義務化
31 年度	3	介護職員(2)事務員(1)	3	介護職員(2)支援専門員(1)	
32 年度	2	介護支援専門員(1)介護職員(1)	3	介護職員(3)	
33 年度	2	看護職員(1)介護職員(1)	3	介護職員(2)看護師(1)	制度・報酬改正 開園 35 周年
34 年度	1	看護師(1)	2	介護職員(2)	
35 年度	0		2	介護職員(1)看護師(1)	
36 年度	1	看護師(1)	2	介護職員(2)	制度・報酬改正
37 年度	4	介護職員(3)栄養士(1)	2	介護職員(2)	
38 年度	2	准看護師(1)介護福祉士(1)	2	介護職員(2)	開園 40 周年
合計	22		38		

※①看護師、機能訓練指導員の採用人数も含む

※看護師、機能訓練指導員については随時募集とする。※生活相談員、介護支援専門員、ソーシャルワーカーについては、配置転換で補充を図るが、配置転換で補充できない職種は採用計画に入れる

平成28年度(平成29年4月1日採用)採用計画

■社会人枠 ■公告期間:平成28年7月1日～8月31日 ■応募期間:随時募集 ■採用試験の内容:作文・面接 ■広報の方法:越後屋・まちかど伝言版・法人HP・ハローワーク

職 種	募集人数	事業所名	資 格 等 の 要 件
介護職員(正職員)	5	特別養護老人ホーム	年齢:60歳未満、学歴:不問、雇用開始:随時、普通自動車免許(必須)、介護福祉士・介護福祉士受験資格・介護職員初任者研修課程修了(望む)

機能訓練指導員(正職員)	2	特別養護老人ホーム デイサービスセンター	年齢:60 歳未満、学歴:不問、雇用開始: 随時、普通自動車運転免許(必須)、理学 療法士・作業療法士(いずれか必須)
看護師及び准看護師(正職員)	2	特別養護老人ホーム デイサービスセンター 訪問入浴介護センター 認知症対応型通所介護	年齢:60 歳未満、学歴:不問、雇用開始: 随時、普通自動車免許(必須)、看護師(必 須)、准看護師(必須)
介護支援専門員(正職員)	1	居宅介護支援事務所	年齢:60 歳未満、学歴:不問、雇用開始: 随時、普通自動車免許(必須)、介護支援 専門員(必須)

平成28年度 防災訓練 年間計画

月	項 目	訓 練 内 容
4 月	連絡体制の確認	火災通報専用電話機を使用し、新規採用職員を含めた非常連絡体制の確認を行う
5 月	日中総合防火訓練	日中の火災を想定した総合訓練を行う
6 月	初期消火訓練	消火器、屋内消火栓を使用した消火訓練を行う
7 月	地震対応訓練	『しゃがむ』『かくれる』『じっとする』の訓練を行う
8 月	台風対応訓練	机上訓練
9 月	夜間想定総合防火訓練 地域防災訓練	夜間の火災を想定した総合訓練を行う。防災協力隊と合同で実施する 防災協力隊と一緒に施設見学及び避難誘導方法、非常口の確認を行う
10 月	初期消火訓練	消火器、屋内消火栓を使用した消火訓練を行う
11 月	通報訓練	夜間の火災を想定した通報訓練を行う
12 月	津波対応訓練	机上訓練
1 月	通報訓練 地域防災訓練	夜間の火災を想定した通報訓練を行う 防災協力隊と一緒に施設見学及び避難誘導方法、非常口の確認を行う
2 月	雪害対応訓練	机上訓練
3 月	地震対応訓練	「しゃがむ」「かくれる」「じっとする」の訓練を行う。原子力事故対応計画も含めた説明会を行う

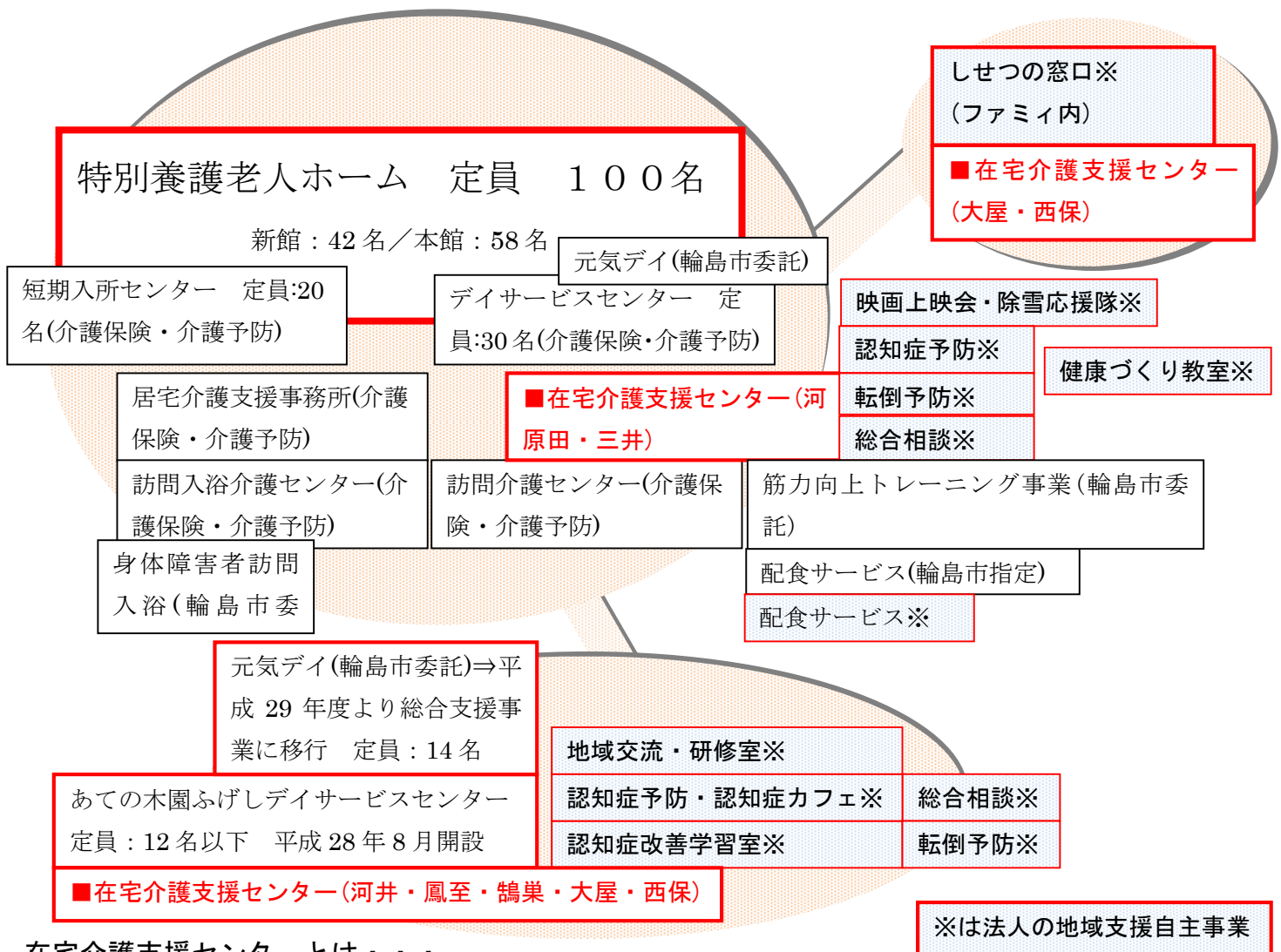
施設更新計画(平成28年度～平成32年度)

年 度	内 容	備 考
H28(2016) 介護保険第 6 期	サービスステーションの環境整備(男女別の休憩室整備)、夜間受付口の段差解消及びスロープの設置・廊下照明 LED に変更、床・壁の更新、大食堂の環境整備(床の張替・照明 LED に変更)	特養 30 周年記念行事、認知症型通所介護事業開始(8 月より事業開始予定)【第 6 期改修工事】工事費約 30,000 千円※特別養護老人ホームの個室化の検討
H29(2017) 介護保険第 6 期	廊下電灯 LED 更新、非常用照明 LED 更新、事務室及び会議室 LED 更新、非常用照明	【第 7 期改修工事】 工事費約 20,000 千円

期	LED 更新、事務室壁・床更新、居室換気扇更新	※特別養護老人ホームの個室化の検討
H30(2018) 介護保険第 7 期	駐車場補修、軒先・屋根防水工事	【第 8 期改修工事】 工事費約 20,000 千円
H31(2019) 介護保険第 7 期	居室電灯 LED 更新、居室床・居室ドア・居室壁・洗面台更新、駐車場補修、外壁塗替え工事※外壁は全館完了	【第 9 期改修工事】 工事費約 30,000 千円
H32(2020) 介護保険第 7 期	屋根防水工事※屋根防水は全館完了、駐車場補修	【第 10 期改修工事】 工事費約 30,000 千円

□次期屋根防水及び外壁更新は 2030 年以降に行う。

平成 28 年度以降の事業所の計画



在宅介護支援センターとは・・・



自宅で暮らしている援護が必要な高齢者や援護が必要となるおそれのある高齢者、その家族の方等からの相談に応じ、介護等に関するニーズに対応した各種の保健、福祉サービス(介護保険を含む)が、総合的に受けられるように市町村等関係行政機関、サービス実施期間、居宅介護支援事業所等との連絡調整等を行います。

あての木園ふげしデイサービスセンター建設計画

- 工事場所： 石川県輪島市掘町9-25 ● 構造・階数：木造・平屋建
- 敷地面積： 1,955.82㎡(約591坪) ● 標 高：8.3m ● 床 面 積： 322.95㎡(97.5坪)
- 用途 地域： 第2種住宅地域 ● 工期： 平成28年7月31日まで
- 主要用途： 地域密着型認知症対応通所介護施設・介護予防通所介護施設

設計監理：谷口建築設計事務所 建築工事：株式会社宮地組

介護が必要になっても地域に住み続けられるよう創設された地域密着型サービスセンターとして

施設平面計画

- 認知症対応と予防介護の通所施設を渡り廊下で複合させたコンパクトタイプ
- 省エネ・バリアフリーに配慮した建築・設備
- ウッドデッキテラスと一体のフロアー
- 輪島産木材の利活用
- 地域交流を考慮した駐車スペースの確保



認知症の方であっても安心して住み慣れた地域に生活できるように、適切な認知症ケアの提供、地域の方に認知症の理解を深めるために認知症対応型通所介護を開設します。(定員 12 名)

また、輪島市内において、介護予防の拠点として介護予防や認知症予防の研修室、介護の知識や専門書を設置してある学習室、様々な高齢者の抱える相談に対応する在宅介護支援センターの設置、介護予防対象者や一般高齢者を対象とした認知症予防や介護予防に取り組む機能訓練やバランスのとれた食事の提供、必要な方については入浴サービスの提供を行います。(定員 14 名)

認知症対応と認知症予防・介護予防も取り組む、新たな介護サービスを展開します。

配置職員は管理者 センター長(1 名) 生活相談員(1 名) 介護職員(6 名) 機能訓練指導員(1 名) ソーシャルワーカー (1 名) 合計 10 名配置したいと考えております。

社会福祉法人 輪島市福祉会 事務局

〒929-2378 石川県輪島市三井町小泉上野 2 番地

☎(0768)26-1661 FAX(0768)26-1751

メール atenoki@skyblue.ocn.ne.jp

HP アドレス : <http://www.amusewajima.gr.jp/atenokien/>